

令和6年度 福岡市高速鉄道事業会計予算の概要

1. 予算

収益的収支	金額
収入	42,002 百万円
支出	35,356 百万円
差引	6,646 百万円
単年度損益 (消費税要素除く)	5,914 百万円

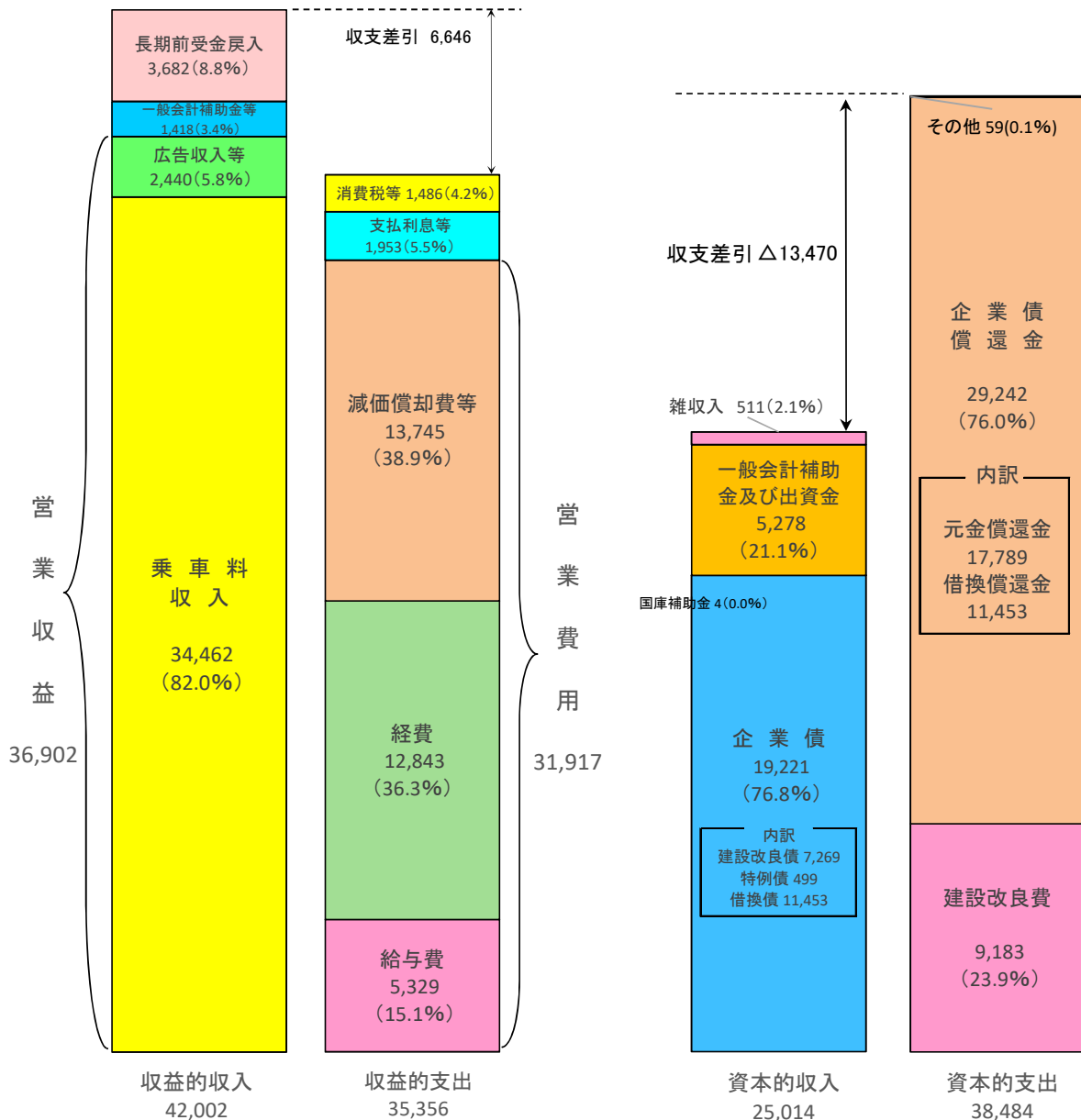
令和5年度末累積損益 △ 103,127百万円
 令和6年度損益 5,914百万円
 令和6年度末累積損益 △ 97,213百万円

資本的収支	金額
収入	25,014 百万円
支出	38,484 百万円
差引	△ 13,470 百万円

※ 減価償却費などの損益勘定留保資金等で補てん
 令和6年度末累積資金過不足額 7,026 百万円

収益的収支
(単位：百万円)

資本的収支
(単位：百万円)



2. 業務の予定量

(1) 営業路線及び営業キロ

空港線（1号線）	姪 浜 ～ 福岡 空港	13.1	キロメートル
箱崎線（2号線）	中 洲 川 端 ～ 貝 塚	4.7	キロメートル
七隈線（3号線）	橋 本 ～ 博 多	13.6	キロメートル
計		31.4	キロメートル

(2) 車 両 数 228両 (45編成)

(3) 年間走行キロメートル 19,994,279 キロメートル

(4) 年間輸送人員 179,032,500 人

(5) 一日平均輸送人員 490,500 人

○内訳	5年度	4年度	差引
空港・箱崎線 (a)	361,400 人	301,900 人	59,500 人
七隈線 (b)	129,100 人	107,300 人	21,800 人
全線計 (a) + (b)	490,500 人	409,200 人	81,300 人

3. 主要な建設改良事業

営業線改良事業 事業費 9,183,325 千円

4. 重要施策

()内は前年度予算額

(1)安全・安心の確保

5,320,070千円 (1,093,755千円)

安全を最優先とする組織風土をより高めるため、運輸安全マネジメントのスパイラルアップを図るとともに、教育訓練の充実などによる安全スキルの向上や、施設・車両などの安全性確保、様々な自然災害やテロ対策の強化等に取り組む。

また、安全・安心の取組みに関する情報を積極的に発信する。

ア 施設、車両などの安全性の確保

5,126,070千円 (1,021,898千円)

トンネル等の土木構造物について、長期計画に基づき補修工事を実施するとともに、経年劣化した駅の内外装を計画的に改修し、施設等の安全性の確保に取り組む。

車両については、3000系車両の列車制御装置の更新等を行い、安全性や快適性を向上させるとともに、運用開始から約40年が経過した1000N系車両更新のため、新造車両の製作を推進する。

イ 災害対策の強化

126,572千円 (20,519千円)

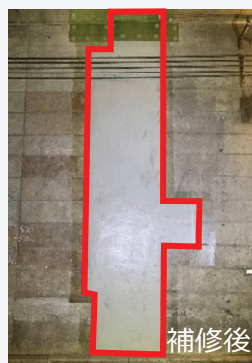
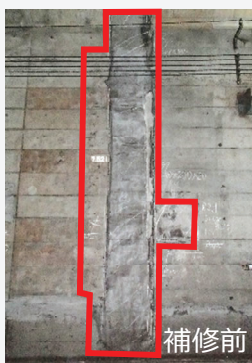
局地的な集中豪雨等による浸水に備え、駅施設の浸水対策を強化するため、駅出入口の経年劣化した止水板の改良を実施する。

ウ 防犯対策の強化

67,428千円 (51,338千円)

全車両にリアルタイム監視機能付きの防犯カメラを計画的に設置するとともに、警備員による巡回警備を強化するなど、効果的な防犯対策に取り組む。

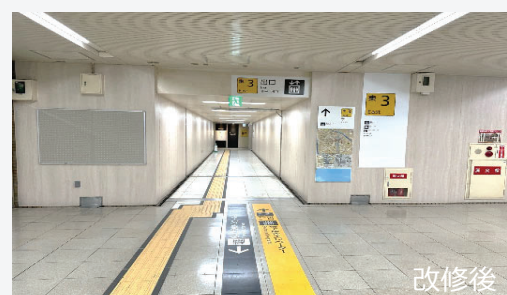
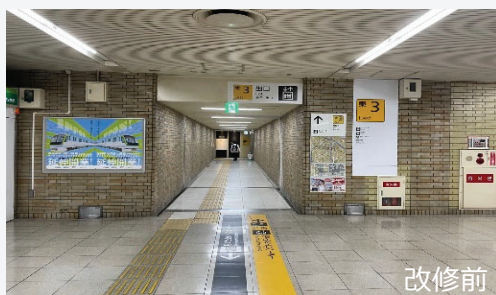
また、駅内の防犯カメラについて、お客様の安全・安心等に資するAI技術の活用に取り組む。



土木構造物補修工事 (イメージ)



[参考] 夜間工事 (分岐器更新工事)



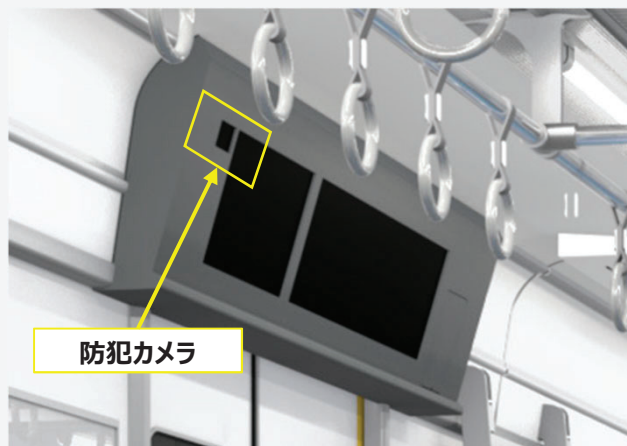
駅内外装改修 (イメージ)

(単位：千円)

区分	令和6年度	令和5年度	比較増減	備考
ア 施設、車両などの安全性の確保	5,126,070	1,021,898	4,104,172	
土木構造物補修	210,112	216,957	△ 6,845	トンネル断面修復 等
総事業費：1,942百万円（事業期間：令和5年度～令和14年度）				
駅内外装改修	211,524	234,562	△ 23,038	中洲川端駅・室見駅内外装改修工事 等
3000系車両列車制御装置更新	484,000	520,036	△ 36,036	自動列車制御装置・自動列車運転装置の更新 等
総事業費：2,312百万円（事業期間：平成30年度～令和7年度） 実績額：1,272,768千円				
七隈線車両運転モード改良	55,990	47,520	8,470	扉操作方法の改良
1000N系車両更新事業	4,164,444	2,823	4,161,621	新造車両の製作（3編成）
総事業費：21,699百万円（事業期間：令和3年度～令和9年度）				
イ 災害対策などの強化	126,572	20,519	106,053	
浸水対策事業	126,572	20,519	106,053	駅施設の浸水対策改良工事
ウ 防犯対策の強化	67,428	51,338	16,090	
車内防犯カメラの設置など	54,428	51,338	3,090	リアルタイム監視機能付きの防犯カメラの設置、巡回警備の強化
AIを活用した安全対策	13,000	-	13,000	駅内防犯カメラのAI活用実証実験
合計	5,320,070	1,093,755	4,226,315	



1000N系車両更新



車内防犯カメラの設置

()内は前年度予算額

(2) 快適で質の高いサービスの提供

344,338千円 (37,184千円)

お客様により満足いただける高品質なサービスを提供するため、スムーズな輸送サービスや快適・便利な環境づくりに取り組むとともに、高齢者や障がいのある人に対応したサービスの提供や来街者にも使いやすい環境整備など「ユニバーサル都市・福岡」にふさわしい地下鉄に向けた取組みを推進する。

ア 誰もが使いやすい環境づくり

316,733千円 (30,634千円)

多くのお客様が利用する福岡空港駅において、移動円滑化を推進するため、エレベーターの増設に取り組む。

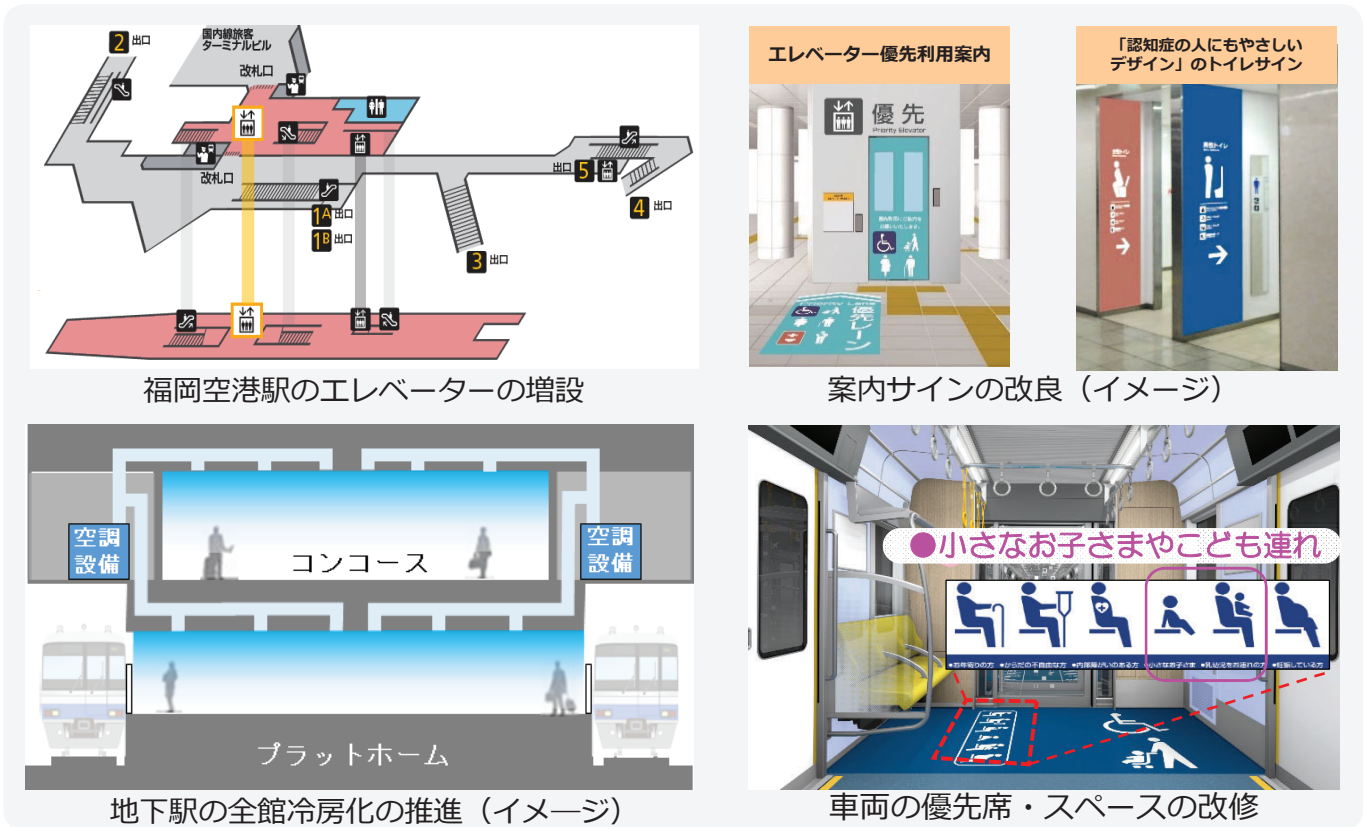
また、高齢者や障がいをお持ちの方など誰もが安心して快適にご利用いただけるよう、案内サインの改良を実施するとともに、妊娠中の方や子ども連れの方が利用しやすいよう車内の優先席・スペースの改修に取り組む。

さらに、福岡市を訪れる国内外からのお客様等の利便性向上を図るため、引き続き地下鉄駅コンシェルジュを博多駅に配置するとともに、天神駅においても試行実施する。

イ 快適・便利な環境づくり

27,605千円 (6,550千円)

お客様に安心・快適にご利用いただくため、近年の平均気温の上昇やお客様からの声を踏まえ地下鉄の全館冷房化を推進するとともに、七隈線のラッシュ時の混雑緩和のための3000A系車両4編成の増備や乗車マナーの向上に取り組む。



(単位：千円)

区分	令和6年度	令和5年度	比較増減	備考
ア 誰もが使いやすい環境づくり	316,733	30,634	286,099	
昇降機の増設	15,562	-	15,562	福岡空港駅エレベーター設置設計業務委託
案内サインの改良	46,439	6,032	40,407	エレベーター優先サイン、認知症の人にもやさしいトイレサイン設置
車両の優先席・スペースの改修	242,325	-	242,325	優先席・スペースの改修
観光客などの移動円滑化	12,407	24,602	△ 12,195	地下鉄駅コンシェルジュの配置等
イ 快適・便利な環境づくり	27,605	6,550	21,055	
地下駅の全館冷房化の推進	12,931	-	12,931	赤坂駅・六本松駅全館冷房設置実施設計業務委託
乗車マナーの向上	14,674	6,550	8,124	姪浜駅ホーム床サイン、乗車マナー向上キャンペーン等
合計	344,338	37,184	307,154	

◆七隈線増便による効果

	1時間あたりの運行本数	ピーク時の混雑率
現状	17本	約130%
改修予備車投入時 令和6年3月	18本	約125%
車両増備時 令和9年	21本	約115%

※今後の需要増を踏まえての混雑率



3000A系車両

()内は前年度予算額

(3) まちづくりへの貢献

929,441千円 (262,875千円)

福岡のまちの発展に貢献するため、駅周辺のまちづくりに対応した駅施設の改良や、沿線の地域、イベント、施設などと連携した取組みを推進する。

また、脱炭素化の推進など環境対策に関する取組みを推進する。

ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など 25,367千円 (23,592千円)

博多駅筑紫口において、駅リニューアル事業として、新たな店舗区画を創出し、お客様にとって利便性の高い店舗の誘致を図る。

また、近隣の街並みや地域の歴史、観光資源等の特性を踏まえた駅の魅力づくりに取り組み、その魅力を効果的に発信する。

イ 環境対策に関する取組み 904,074千円 (239,283千円)

省エネのため、駅出入口の地下鉄の表示（Fマーク灯）及び駅構内の電照広告のLED化を計画的に実施し、使用する電力の削減に取り組む。

また、脱炭素化を推進するため、再生可能エネルギー由来電力の利用をさらに推進する。

(単位：千円)

区分	令和6年度	令和5年度	比較増減	備考
ア 沿線まちづくりに対応した駅施設の改良など	25,367	23,592	1,775	
博多駅筑紫口リニューアル事業	25,367	23,592	1,775	利便施設改良工事、駅装飾
総事業費:265百万円(事業期間:令和元年度~令和6年度) 実績額:213,044千円				
イ 環境対策に関する取組み	904,074	239,283	664,791	
駅照明等のLED化	74,894	113,468	△38,574	Fマーク灯・電照広告のLED化等
総事業費:3,110百万円(事業期間:平成23年度~令和14年度) 実績額:1,433,957千円				
再生可能エネルギー由来電力の利用推進	829,180	125,815	703,365	地下鉄用電力の再エネ由来電力導入割合の増加
合計	929,441	262,875	666,566	

駅ナカ店舗 新区画整備

- 新区画整備工事 令和6年度下期
- 店舗事業者公募 12月

宝くじ店4月移転開業

博多織デザイン壁面装飾

- 筑紫口改札付近の壁面等に献上柄(博多織)のデザイン装飾

献上柄イメージ

博多駅筑紫口リニューアル事業

()内は前年度予算額

(4) 収益の確保

109,521千円 (25,628千円)

収益力を強化するため、マーケティングに基づく戦略的な営業施策の推進や広告・駅ナカ事業収入の確保に取り組む。

また、経営環境等の変化に対応するため、平成31年2月に策定した「福岡市地下鉄経営戦略」を12年間の基本計画である「長期ビジョン」と4年毎に見直す実施計画の「中期経営計画」に再構築する。

ア 戦略的な営業施策の推進

109,521千円 (25,628千円)

お客様の地下鉄利用を促進するため、クレジットカードの非接触決済機能を活用した乗車サービスを本格導入するとともに、集客施設等との連携や観光資源を活かした周遊コースの開発・情報発信等の戦略的な営業施策に取り組む。

(単位：千円)

区分	令和6年度	令和5年度	比較増減	備考
ア 戦略的な営業施策の推進	109,521	25,628	83,893	
キャッシュレス決済手段の拡充	81,080	2,420	78,660	タッチ決済乗車サービスの本格導入
マーケティングに基づく営業戦略	28,441	23,208	5,233	マーケティングに基づいた戦略的な営業施策等
合計	109,521	25,628	83,893	



キャッシュレス決済手段の拡充



マーケティングに基づく営業戦略